

様式第 10 号

特殊公務災害・国際緊急
援助活動特例災害関係

障害補償年金請求書
障害特別支給申請書
障害特別援護金申請書
障害特別給付金申請書

1号紙

認定 番号	
----------	--

地方公務員災害補償基金北海道支部長 殿 下記の障害補償年金 を請求（申請）します。	請求(申請)年月日 年 月 日 請求(申請)者 の住所 ふりがな 氏 名 個人番号
	障害特別支給金 障害特別援護金 障害特別給付金

1 被災職員に 関する事項	所属団体名	所属部局名
	氏名 年 月 日生 (歳)	職 名 <input type="checkbox"/> 常 勤 <input type="checkbox"/> 令第1条職員
	負傷又は 発病の年月日	治ゆ年月日

2 障害の部位及びその程度

3 既存障害とその程度

4 障 害 等 級	第 級 号
-----------	-------

5 障害補償年金請求金額	$(\text{平均給与額}) \times (\text{日数}) \times \frac{(1 + \text{割増率})}{100} =$	円
--------------	---	---

6 他法年金の受給関係	<input type="checkbox"/> の被保険者であった。 <input type="checkbox"/> 被保険者ではなかった。
-------------	--

7 障害特別支給金 障害特別援護金 申請金額等	障害特別支給金 円 障害特別援護金 円 傷病特別支給金 円 の受給の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
----------------------------	---	--

8 計算	障害特別給付金申請金額の (A) $(\text{平均給与額}) \times (\text{日数}) \times \frac{(1 + \text{割増率})}{100} \times \frac{20}{100} =$	円
	(B) $1,500,000 \text{円} \times \frac{(\text{日数})}{365} =$	円

9 障害特別給付金申請金額	円
---------------	---

10 送金希望の 場合	振込 み	振込先金融 機 関 名	銀行 支店	* 年金決定年額	法第30条の制限 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		<input type="checkbox"/> 普通預金 <input type="checkbox"/> 当座預金		円	
		口座番号		* 特別支給金決定金額	円
		預金名義者		* 特別援護金決定金額	円
				* 特別給付金決定金額	円
	送金小切手	受取先金融 機 関 名	銀行 支店	* 通 知	年 月 日
	その他			* 年金証書の番号	第 号
*	障害等級	第 級 号		* 年金 特別給付金 支給開始年月	年 月
*	特殊公務災害・ 国際緊急援助 活動特例災害	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当		* 特別支給金 特別援護金 の支払	年 月 日

*受理 (到達した年月日)	所属部局 年 月 日	任命権者 年 月 日	基金支部 年 月 日
------------------	---------------	---------------	---------------

〔注意事項〕裏面参照。

〔注意事項〕

- 1 この請求（申請）書は、特殊公務災害又は国際緊急援助活動特例災害による障害補償年金、障害特別支給金、障害特別援護金及び障害特別給付金を請求（申請）する場合に用いること。
- 2 請求（申請）者は、*印の欄には記入しないこと。また、該当する□にレ印を記入すること。
- 3 個人番号は、行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成25年法律第27号）第2条第5項に規定する個人番号を記入すること。
- 4 「3 既存障害とその程度」の欄には、新たに既存の障害の程度を加重した場合にのみ記入するものとし、既存障害について障害補償を支給された場合は、その該当等級を明記すること。
- 5 「5 障害補償年金請求金額」の欄の割増率は、障害等級第1級の場合は100分の40、障害等級第2級の場合は100分の45、障害等級第3級以下の場合は100分の50であること。
- 6 「6 他法年金の受給関係」の欄には、請求する障害補償年金と同一の事由により令附則第3条第1項の表の中欄に掲げる年金たる給付を受ける者であるときは、「□_____の被保険者であった。」の□にレ印を記入するとともに、その適用を受ける法律の名称を記入すること。なお、この請求書を提出するときに、その年金の種類、年額、支給開始年月、年金証書の記号番号及び所轄年金事務所名等を記載した書類を添付すること。また、この請求書に係る年金の支給決定後に令附則第3条第1項の表の中欄に掲げる年金たる給付を受けることとなった場合には、速やかにその旨書類で報告すること。
- 7 「7 障害特別支給金・障害特別援護金申請金額等」の欄の「傷病特別支給金の受給の有無」の項は、同一の傷病に係る傷病特別支給金についての受給の有無を記入すること。
- 8 「8 障害特別給付金申請金額の計算」の欄の割増率は、4の例により記入すること。なお、令第1条職員の場合のこの欄の記入については、別に定めるところによること。
- 9 「9 障害特別給付金申請金額」の欄には、「8 障害特別給付金申請金額の計算」の欄の(A)の金額（(A)の金額が(B)の金額を超える場合には、(B)の金額）を記入すること。
- 10 「平均給与額算定書（2号紙）」には、この請求に係る平均給与額についての算定内訳を記入すること。
- 11 この請求書には、災害が法第46条の特殊公務災害又は令第11条の国際緊急援助活動特例災害に該当するものであることを証明する書類、治癒の時期の決定及び障害等級の決定に必要な医師の診断書、X線写真その他の資料を添付すること。
- 12 年月日の記載には元号を用いる。